



講演テーマ

自分を変える ～僕が絵を描く理由～

講師

絵描きの MARCHY氏 (マーシー)

Profile

自己主張が苦手だった過去や病気を抱えながらも「似た境遇の人にパワーを届けたい」と独創的な絵画やアニメーションを制作し、個展を開くなど精力的に活動する須崎市出身の若手アーティスト。

高知で活動している「絵描きのMARCHY (マーシー)」こと、吉村勝己氏を迎え、講演いただきました。

はじめに、彼から映像関係や展覧会、他にも服の制作・販売を主な仕事としていることの紹介がありました。

講演の開始と同時に彼が制作した動画(アニメーション)を視聴しました。この視聴した4分間の動画では、1コマ1コマ約2万枚を手描きで用意したそうです。

彼は、仕事内容から、「美大に行ったのか」と聞かれることもあるそうですが、独学で絵を描き始め、もともとはキャンバス作品でアナログ制作だったと言います。しかし、最近は映像制作にチャレンジをし、「枠組みに囚われずに、自分が好きな、ありのままに生きている」と語りました。また、彼は、「上手に行うことではなく、挑戦すること。そして、楽しむことも大切にしている。」と、力強く発言しました。

彼の趣味は、「100倍可愛くカッコよく描くアニメチックな似顔絵」。似顔絵のコンセプトは、お客さんに喜んでもらうことを重視し、一般的な似顔絵ではなく、イケメンに、可愛く描いてもらうとうれしいという人間の心理を少し突こうと思っていると話します。そして、この似顔絵が、周りの人から評価され、イベントで実施すると列が途切れなくらい並ぶこともあるようです。この似顔絵の料金については、お客さんが自分で決める仕組みとなっており、「100円から」と伝え、不思議と1,000円や2,000円という金額を対価として提供いただけるそうで、この仕組みにより、彼自身、いろいろと学ぶことができたと話していただきました。

彼は、もともとイラストが苦手であり、抽象的なものを書くことが好きだったようで、当初は、上手く描くことができなかったそうです。しかし『チャレンジ』をすることで、少しずつ上手く描くことができるようになり、とても効率が良くなおかつ楽しいとも感じるようになったそうです。

会場の参加者にも、「一番大事なことは挑戦すること」と伝えました。「やりたいという情熱があって、一步を踏み出すことができる。」この一步がとても大事だと。

以前に、ある企業から100周年の動画を制作してほしいと依頼があり、彼自身、未熟な中で重大なことを任せられ、「やるぞ!」という思いで挑戦したことが、一步を踏み出した経験と語りました。この挑戦から、様々なことに対して少しずつどういうふうになればよいかが見えてきて、とても勉強になったと伝えていただきました。

会場の参加者にもっとも伝えたいことは、彼が何度も発言した「挑戦」。好きなことがあれば、必ず挑戦してほしいと、挑戦すればその先が見えてくると、強く語っていただき、講演を締めました。

講演の様子

